

社会

1 次の文は、日本の国土の特徴についての、あきお君とみね子さんの会話です。よく読んで下の問いに答えなさい。

あきお 「日本って山の多い国なんだ。なんと、陸地の約4分の3が山なんだよ。」

みね子 「そうね。3000m以上の山が並んでいるA. 日本アルプスもあるしね。でも高い山だとくらしにくいから、人は平地に住んでいるわね。」

あきお 「海に面している平地を平野、山に囲まれているくぼんだ平地を（ 1 ）、まわりの土地より少し高くなっている平地を（ 2 ）と言うんだよ。」

みね子 「そのとおり。低いところの土地では、川の水を使って田んぼを作ってお米を育てているわ。」

あきお 「逆に高いところでは、水をたくさん使うことは出来ないから、畑で野菜を育てたり林業が多くなるのかな。」

みね子 「林業と言えば、最近、森がとても大切だという話を聞いたの。」

あきお 「ふうん、日本の国土の約（ 3 ）%は森林だって言うね。」

みね子 「そう。自然の力で成り立っている森林は天然林とよばれ、人の手で育てられている森林は（ 4 ）とよばれているわね。」

あきお 「天然林っていうのは世界自然遺産になっているB. 白神山地のような、自然に出来たものだよね。天然林のように人の手が入っていない森林は、生き物にとっては最高の生活の場だね。」

みね子 「森の生き物だけではないわ。天然林から流れてくる川は、養分を含んだきれいな水だから、最終的には〔 C 〕ことにつながるのよ。」

あきお 「（ 4 ）はどうだろう？成長の早い木を育てているらしいけど。」

みね子 「私たちの生活に（ 4 ）は必要なのね。」

問1 文中の（ 1 ）にあてはまる語句を答えなさい。

問2 文中の（ 2 ）にあてはまる語句を答えなさい。

問3 文中の（ 3 ）にあてはまる数字を、次のア～エの中から1つ選び記号で答えなさい。

ア 44 イ 55 ウ 66 エ 77

問4 文中の（ 4 ）にあてはまる語句を答えなさい。

問5 文中の下線部Aについて、日本アルプスに^{ふく}含まれないものを、次のア～エの中から1つ選び記号で答えなさい。

ア 越後山脈 イ 木曽山脈 ウ 飛騨山脈 エ 赤石山脈

問6 文中の下線部Bについて、これは2つの県にまたがって広がっています。次のア～エの中から正しいものを1つ選び記号で答えなさい。

ア 岩手県と青森県 イ 岩手県と宮城県 ウ 青森県と秋田県 エ 岩手県と秋田県

問7 文中の〔 C 〕にあてはまる文を、10字以内で答えなさい。

2 次の年表を見て後の問いに答えなさい。

年	主なできごと
1338年	(A) が京都に幕府を開く。 朝廷が北朝と南朝に分かれて争う。
1368年	(B) が征夷大将軍に任命される。
1378年	(B) が新たな場所に花の御所(将軍の住居)を作る。
1392年	南北の朝廷が一つになる。
1397年	(B) が金閣を建てる。
1401年	(B) が①中国に遣 ^{つか} いを送る。
1404年	②中国との貿易が始まる。

問1 この年表は、何時代のものでしょうか。

問2 (A) (B) にあてはまる人物名を漢字で答えなさい。

問3 下線部①について、この当時の中国の国名を漢字で答えなさい。

問4 下線部②について、この貿易では、中国の当時の国から与えられた証明書を正式な貿易船に持たせたことから、この証明書にちなんだ名前と呼ばれます。その貿易の名前を漢字4字で答えなさい。

3 太平洋戦争終了後について書かれた次の文を読んで、後の問いに答えなさい。

敗戦によって、日本はアメリカなどの連合国軍の統治下にはいりました。日本の政府は、連合国軍の指導により、(A) 国家として再出発するために戦後改革とよばれる改革を実施しました。

1951年には、アメリカで開かれた講和会議で48か国と(B) を結び、翌年には主権を回復しました。アメリカとは、安全保障条約を結びその関係を深めました。沖縄はアメリカに占領されたままでした。また、この時(C) や中国とは、平和条約を結ぶことはできませんでした。

問1 (A) にあてはまる言葉を漢字4字で答えなさい。

問2 (B) にはこの条約が結ばれた地名にちなんだ条約名が入ります。その条約名を答えなさい。

問3 (C) にあてはまる国名を答えなさい。

問4 戦後改革の中で、国民が政治に参加できる権利について大きな変化がありました。どのような変化があったのかを簡単に説明しなさい。

4 Kさんのクラスでは、社会の授業で、人権や政治について班ごとにテーマを決めて調べました。それぞれの班のテーマをみて、問1～問5に答えなさい。

	テーマ
1班	国会と内閣の働きについて
2班	日本国憲法と平和主義について
3班	人権の保障について
4班	国際社会における日本の活動について
5班	犯罪の捜査と法について

問1 1班は国会と内閣について調べ、その関係について次の文にまとめました。文中の A B にあてはまる語句を、それぞれ答えなさい。

内閣は三権のうち A 権を持ち、またその長である内閣総理大臣は国会によって指名される。そのため、内閣は国会に対して連帯して責任を負う。 B は内閣の仕事が信頼できない場合、内閣不信任の決議を行う。それに対し内閣は B を解散することができる。

問2 2班は日本の平和主義について調べたところ、日本国憲法の中に次の条文が見つかりました。この条文は日本国憲法の第何条か答えなさい。

①日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇または武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
②前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

問3 3班は基本的人権について調べたところ、日本国憲法によって保障される基本的人権にはいくつかの種類があることがわかりました。社会権も基本的人権の一つです。社会権の説明として正しいものを次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

ア 健康で文化的な最低限度の生活を送る権利など、人々が人間らしい生活を送るため、国に保障を求める権利のこと。

イ 選挙で立候補するなど、人々が自ら社会をつくっていくため、政治に参加する権利のこと。

ウ 自分の好きな職業に就くなど、人々の活動に、国が干渉することを排除する権利のこと。

エ 裁判を受ける権利など、人々の人権が侵害されたときに、国に助けを求める権利のこと。

問4 4班は国際社会における日本の活動について調べたところ、2019年6月に大阪府で経済を主なテーマとする 〇〇 サミットが開かれたことがわかりました。〇〇 にあてはまる語句を次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア G7 イ G8 ウ G12 エ G20

問5 5班は犯罪の捜査と法の関係について調べました。そしていくつかの憲法の条文が犯罪の捜査と関係の深いことを発見し、次の表にまとめました。これらの憲法の条文が定められた目的として正しいものを次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。また、表中の黙秘権とはどのような権利か、**30字以内**で答えなさい。

第31条	法に定められている適正な手続きがなされた場合でなければ、刑罰をあたえることはできない。
第33条	逮捕や捜索は原則として裁判官の発する令状がなければならない。
第38条	すべての人に黙秘権が認められる。自白だけを証拠として有罪にされることはない。

- ア 被害にあった人のためにも一刻も早く犯人を確定し、法にもとづく刑罰を科すため。
- イ 疑われている人や捜査の対象になっている人の人権を守るため。
- ウ 立法権・行政権・司法権が互いに抑制と均衡の関係にあるという、三権分立を保つため。
- エ 捜査に主権者である国民の視点を取り入れるため。

令和2年度 中学 第1回一般入学試験 社会解答用紙

1

問1										
問2										
問3										
問4										
問5										
問6										
問7										

2

問1	時代										
問2	(A)						(B)				
問3											
問4											

3

問1										
問2										
問3										
問4										

4

問1	A						B					
問2	第	条										
問3												
問4												
問5	記号											
	黙秘権											

得点

受験番号

氏名